

ビジネス・サポート 新春シンポジウム

中小企業主は経営スタイルのChangeを

ベンチャーキャピタルからサステイナブルキャピタルへ
安定持続性ファンドの創出による強い中小企業作り

2009年2月18日

シムックス株式会社

代表取締役 中島高英

VC(ベンチャーキャピタル)からSC(サティスナブルキャピタル)へ 中小企業が強い安定持続型企業になるための変革

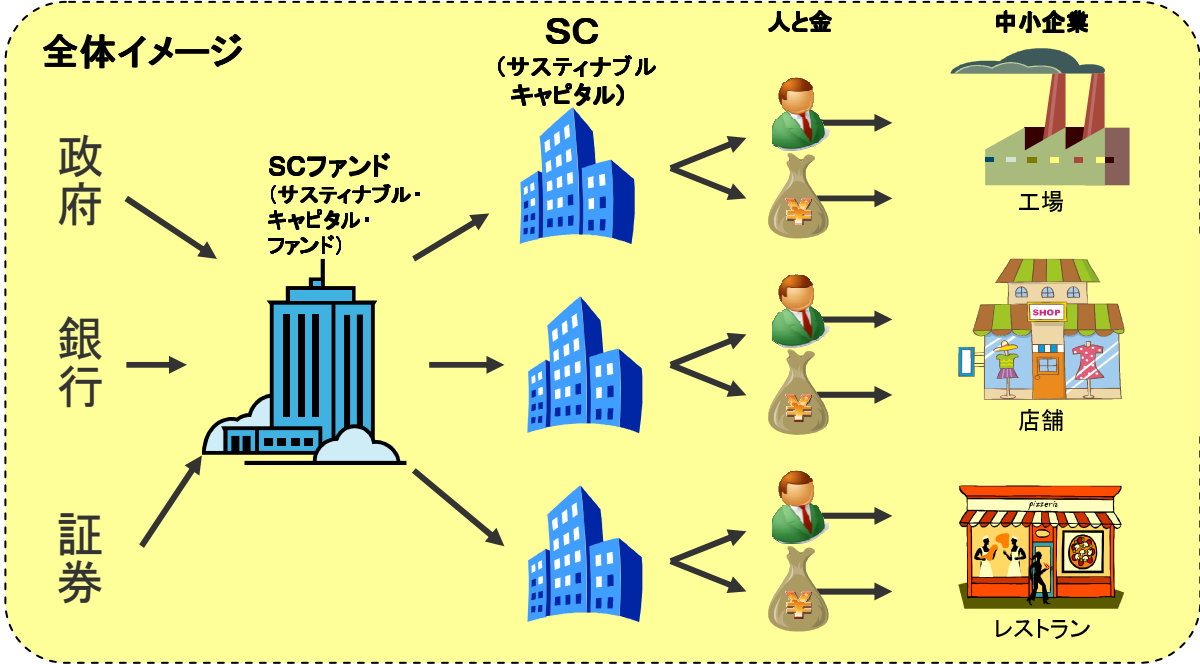
テーマ
 中小企業の金融メカニズムを
 資本投資に変えることで、
 活力ある企業群づくり、
 地域社会の発展に貢献する

内部背景

- ・ 中小企業の経営は金と人の不足にあり
- ・ 金を借金から資本に変えて、経営の基盤を強化する
- ・ 中小企業の経営をマネージメント型にしていく

外部背景(環境・市場)

- ・ 保証協会枠が増えても借金が
増加するだけ
中小企業の経営強化にならない
- ・ みなし資本金が増えている
- ・ 安定した貸し先を金融は求めている



サブ・システム

担当	内容
企画	・コンセプト企画 ・理論企画
調査	・中小企業調査 ・金融関係調査 ・政策調査
立案	・政策立案(法案) ・ビジネス立案



注意事項

- ・ 中小企業向けに株主配当金は経費扱い(金利と同等)
- ・ 資金を出したところは支援ではなく責任分担を負う
- ・ 資本を受け入れる側は従来の発想からの転換が必要

テント型から日本家屋型へ

シムックス株式会社



◆ 中小企業の経営方式は、経営の低をなしていない。経営の”体“を強くするべきである。

◆ 現状の中小企業の経営は、社長が1本のポールで立っているテントのようなものである。

◆ 会社を安定したものにするには日本家屋のように柱を複数立てる必要がある。

◆ 社長は文字通り大黒柱の役割になる。大黒柱は支えの構造と見た目の美しさがある。美しさとは経営の情熱と正しい姿勢である。

5本の柱がそろって安定する

シムックス株式会社



◆ 経営の体を強くする為には
必要な力を“受入れ”ことを“提供
する”こと

◆ 経営に必要な柱
営業、技術、労務、経理、税務

◆ 5本の柱を経営動員できる
ようにしていく

◆ 常時雇いである必要はない

不良債権の発生の危険性がある

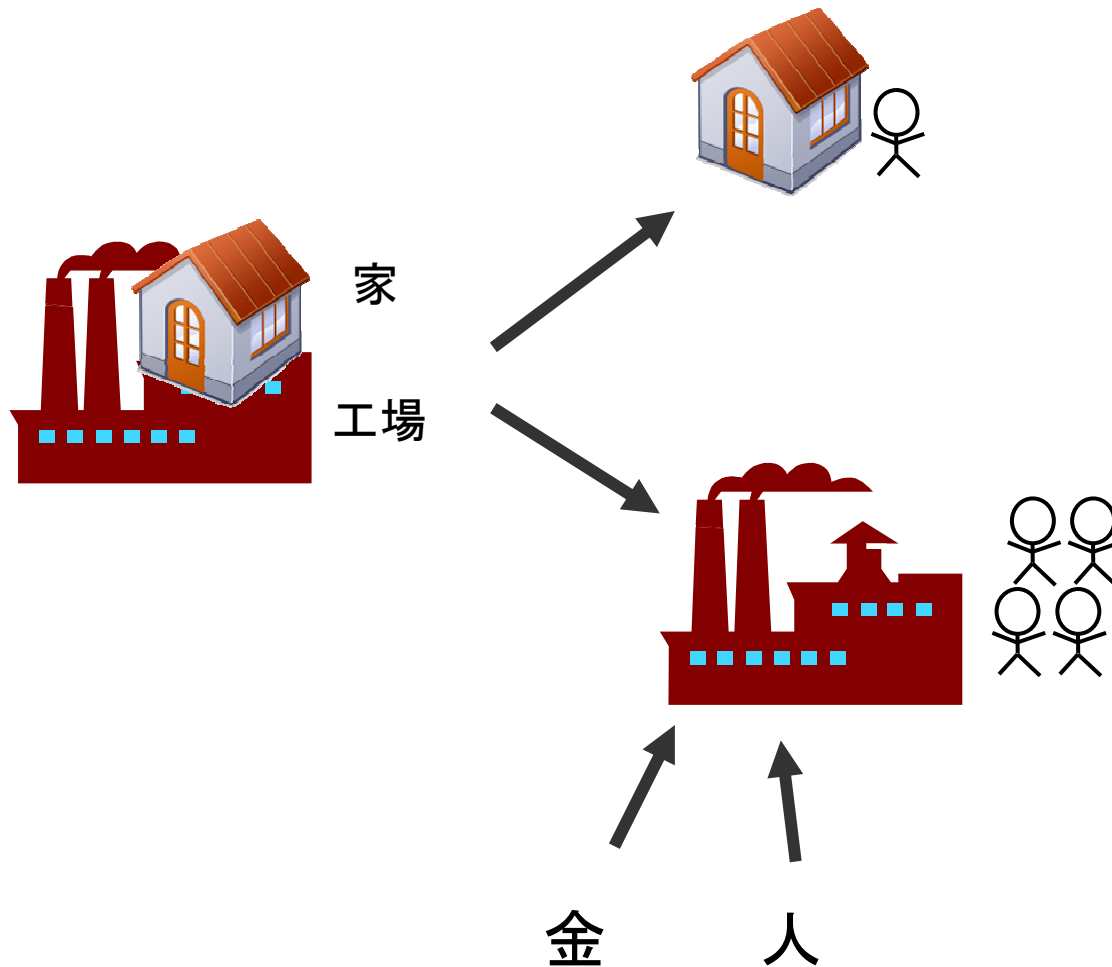
- ◆ 信用雇用枠が6兆円から20兆円になると多額の不良債権の発生の危険性がある
- ◆ テント型に資金を貸付をして会社が延命できても、体質改善はできない。
- ◆ 不良債権の発生を最小にするには、体質改善と柱の多い家に建て替える必要がある。

中小経営のスタイルを変身

- ◆ 経営の体を成す為には、企業主側は、“受入れ”できるスタイルに変えることが第一歩である。
- ◆ 中小企業主が経営スタイルの変身することが必要
- ◆ 中小企業で嵐でも倒れない柱のある家作りを行う
- ◆ スタイルを変更するには、金と人が必要となる
- ◆ 金と人を集めるには、公開性、透明性の高い経営を行うように変身しなければならない

新スタイルは社長の価値観の転換から

シムックス株式会社



◆ 新スタイルとは、個人事業主から会社経営者へのてんかんである。他人の“金”と“人”を受け入れるためには個人事業主的発想からの転換が必要。

◆ 資金を借入金に頼らず、資本金として集められる会社になろう。

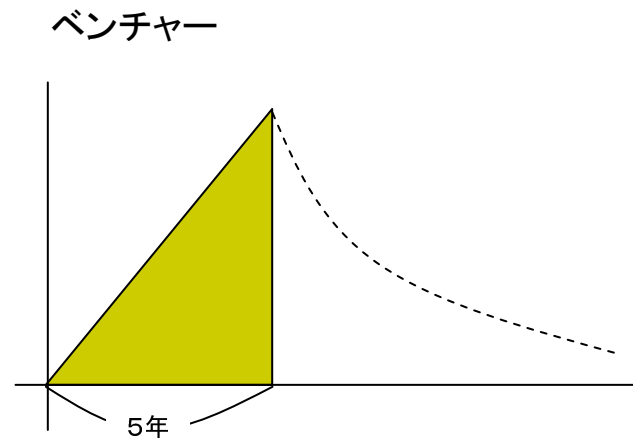
◆ 足りない柱は常時雇いの必要はない。常時雇いはコストが高いから、自給が高くても契約型が良い。

◆ 経営はチーム型へ転換させる。独裁型、オールマイティ型からリーダー型に。

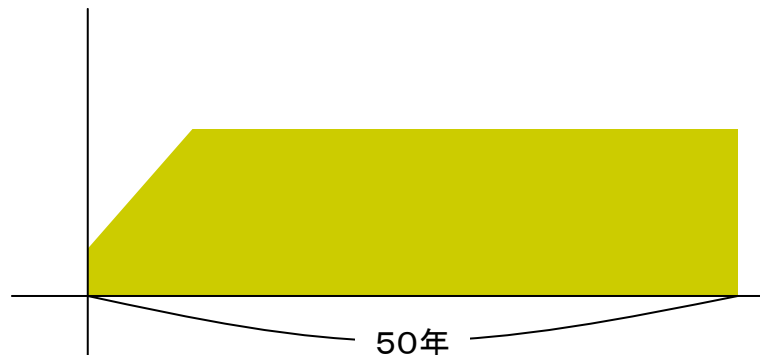
◆ 金も人も他社のものを上手に利用していく経営スタイルに。

投資家の価値観を変換して持続性への再評価を

シムックス株式会社



成長カーブよりも
持続の面積を
重視する



◆ 成長型のベンチャーではなく、長年続いている企業を再評価する必要がある。

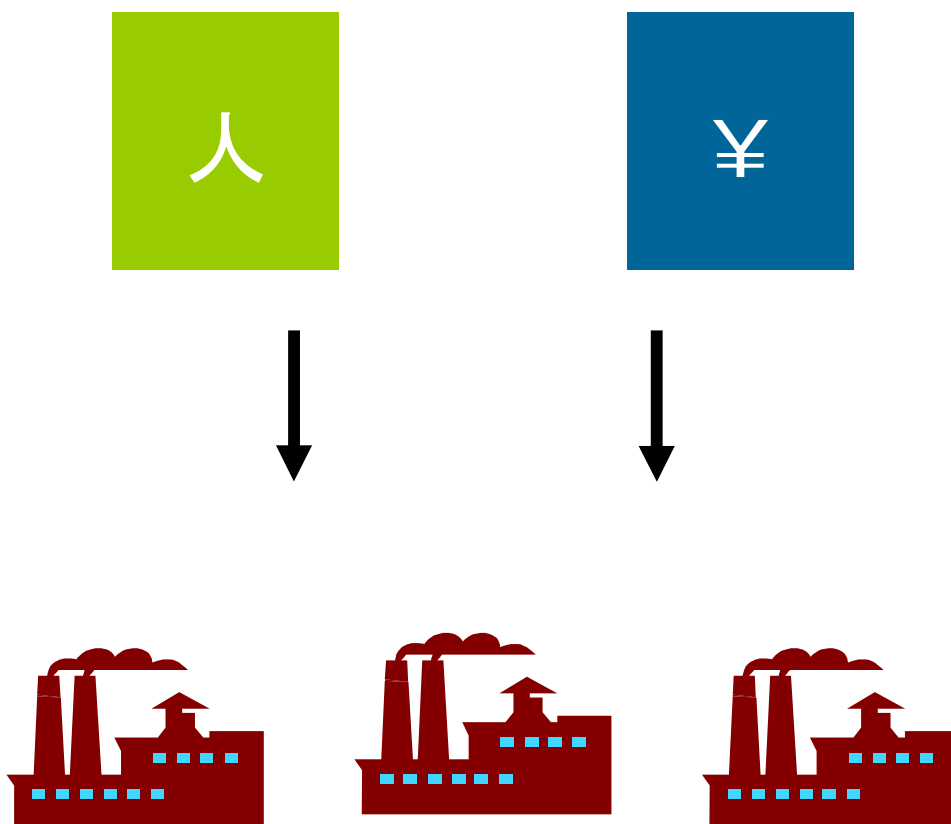
◆ 長く続いていることに、立派な経済価値がある。長い目で見れば、社会にとっても大きな価値がある。

◆ 持続力がある中小企業へのおしは、配当重視。もし10年間、5%の配当ができるならば、投資メリットがある。

◆ 税制面で支援。非公開起業の配当金の非課税化。

中小企業変身ファンド

シムックス株式会社



◆ 中小企業が新経営スタイルに変更するあたり、それに積極的に投資した人が求められる。

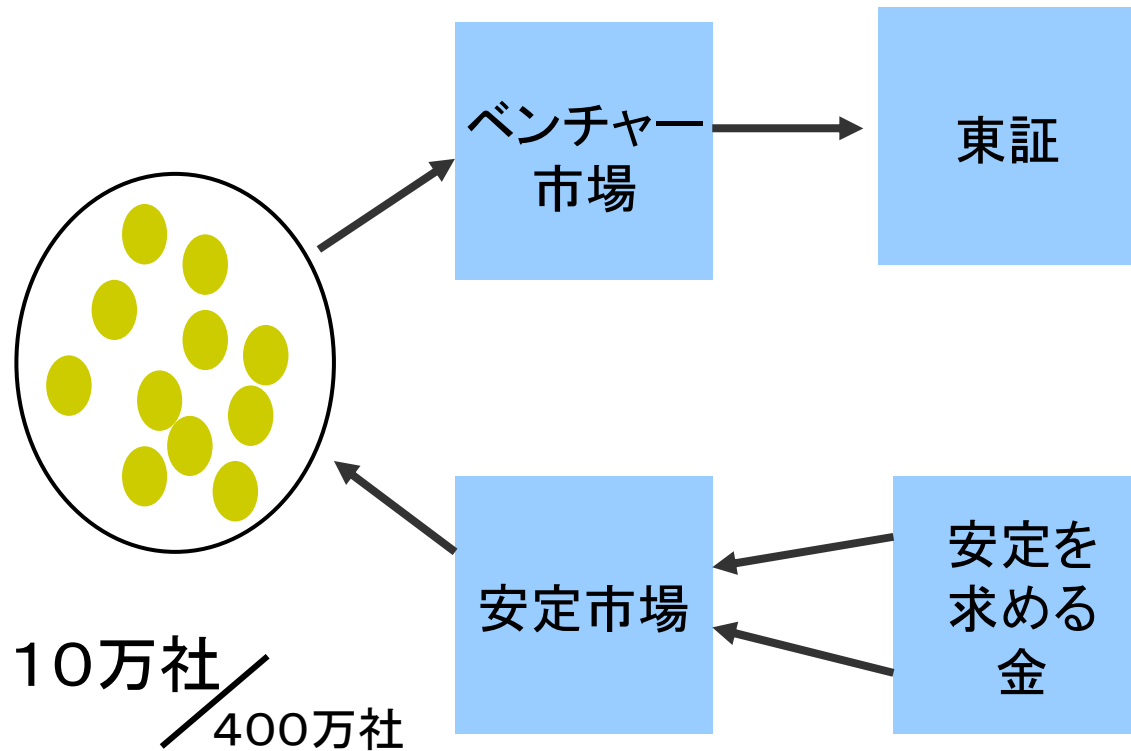
◆ 国、民間の金融機関、投資機関による投資ファンドをつくる。

◆ 投資ファンドは、金だけではなく、積極的に経営に介入していく。

◆ 支援だけでなく、介入し、自立化まで責任を持つようにする。

ファンドの出口としての市場創設

シムックス株式会社



◆ ファンドの出口としては、4つある。

- ・ 企業主、従業員への売却
- ・ 別の会社へ売却
- ・ ベンチャー市場への移行
- ・ 新創設市場

◆ 新創設市場とは、非公開会社、それも成長ではなく持続安定性への評価をしていく市場。単位は、会社を集めてユニット化し、配当重視。プロのみが参加できる。

結 論

- ◆ 中小企業の経営の脆弱さを根本から変えて、持続性ある企業群を作り出す。
- ◆ 従来の成長重視から持続安定性の高い企業への投資を呼び込む。
- ◆ 信用の視点を土地担保から持続性と透明性に重きを移す。
- ◆ 株主として介入し、取締役も派遣し、経営力が付くようにしていく。
- ◆ 経営に介入すると言う事は、新ビジネス、雇用の増加につながる。
- ◆ 銀行の預貸率は半分。半分の金が眠っている。その有効活用になる。